



平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 ホウライ株式会社

コード番号 9679 URL <http://www.horai-kk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷澤 文彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼常務執行役員財務企画部長 (氏名) 泰地 伸宏

TEL 03-3546-2921

四半期報告書提出予定日 平成29年2月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第1四半期の業績(平成28年10月1日～平成28年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	1,293	△5.0	20	△74.5	87	△25.5	113	31.3
28年9月期第1四半期	1,361	8.2	79	201.1	117	43.9	86	46.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第1四半期	8.15	—
28年9月期第1四半期	6.20	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	18,277		7,052			38.6
28年9月期	18,338		6,986			38.1

(参考)自己資本 29年9月期第1四半期 7,052百万円 28年9月期 6,986百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年9月期	—				
29年9月期(予想)		0.00	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,530	0.0	40	△63.7	100	△51.7	120	△18.5	8.59
通期	5,500	3.8	300	23.6	470	0.5	390	13.7	27.91

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年9月期1Q	14,040,000 株	28年9月期	14,040,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年9月期1Q	68,992 株	28年9月期	68,992 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年9月期1Q	13,971,008 株	28年9月期1Q	13,973,443 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景等につきましては、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策を背景に、雇用・所得環境は引き続き改善し、景気は弱含みながら緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、アジア新興国の景気下振れリスクや、米国の新政権による政治・経済政策の動向や金融政策正常化の影響等、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況下、当社は各事業がそれぞれの特性に応じた施策の推進に努めましたが、各事業ともに営業収益、営業総利益は、前年同期を下回りました。一般管理費は、システム更改に伴う経費増を主因に前年同期を上回り、営業利益は前年同期比減益となりました。

当第1四半期累計期間の経営成績は、営業収益が1,293百万円(前年同期比67百万円減)、営業総利益は171百万円(前年同期比54百万円減)、一般管理費は151百万円(前年同期比4百万円増)となり、営業利益は20百万円(前年同期比59百万円減)となりました。営業外収益にゴルフ会員権消却益68百万円(前年同期比25百万円増)を計上したことを主因に、経常利益は87百万円(前年同期比29百万円減)となり、四半期純利益は113百万円(前年同期比27百万円増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。なお、前第3四半期会計期間より報告セグメント区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### ①保険事業

お客様の多様なニーズに応えた商品提案に取り組むとともに、リスクコンサルティング営業に努めました。損害保険分野は、更改契約は前年実績を維持できましたが、保険種目追加を含めた新規契約は伸び悩み、前年同期を下回りました。生命保険分野は法人向け経営者保険を主体に前年同期を下回りました。この結果、トータルの営業収益は231百万円(前年同期比19百万円減)となりました。営業原価は、業務推進体制強化のため人件費は増加しましたが、減価償却費の減少に加え各種経費の見直し削減により、全体では前年同期を下回りましたが、減収により営業総利益は58百万円(前年同期比16百万円減)となりました。

#### ②不動産事業

前期大口テナントが退出したさくら堀留ビルは、後継テナントが入居し、賃貸ビル全体でも高水準の入居率を回復しましたが、テナント入替えに伴い賃料水準が低下したことから、営業収益は387百万円(前年同期比33百万円減)となりました。営業原価は、修繕費の減少を主因に前年同期を下回ったことから、営業総利益は139百万円(前年同期比21百万円減)となりました。

#### ③千本松牧場

秋の行楽シーズンに向けた企画やイベントの開催、旅行会社・近隣観光施設との連携強化、各種メディア露出を活用した広告宣伝等により牧場への集客に努めました。期間前半の出足は好調でしたが、例年になく早い11月の初雪以降天候に恵まれなかったことから、来場者数は前年同期に届かず、食堂・売店の減収を主因に、直販サービス部門の売上は前年同期を下回りました。地場量販店とのコラボ企画や新規販路の開拓に努めた営業推進部門、生乳販売が順調に増加した酪農部門は、それぞれ前年同期を上回りましたが、部門全体では営業収益は455百万円(前年同期比5百万円減)となりました。配送ルート見直しによる運賃の圧縮等、経費節減に努めましたが、営業体制強化のため人件費は増加し、営業原価は前年同期並みとなり、営業総損失は21百万円(前年同期比6百万円の悪化)となりました。

#### ④ゴルフ事業

昨年に引き続き多彩なコンペ企画や業界団体の競技会・大会等の誘致を行い「戦略的なチャンピオンコース」としてコースグレードの向上に努めると共に、ホウライ・西那須野両コースを舞台にした人気長寿ゴルフレッスン番組のテレビ放映等メディアを活用した来場者誘致に努めました。また、食事メニューに工夫を凝らし、ゴルフ用品や土産物の売場の改装を行う等おもてなしのレベル向上に取り組みました。天候には比較的恵まれましたが、11月後半の季節外れの大雪によるクローズが大きく響き、来場者数は前年同期を下回りました。

結果、営業収益はプレー収入の減少を主因に218百万円(前年同期比8百万円減)となりました。営業原価は、人件費や減価償却費は増加しましたが、各種経費の圧縮により前年同期並みに抑え、営業総損失は4百万円(前年同期比9百万円の悪化)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、18,277百万円となり、前事業年度末と比較して60百万円減少しました。

流動資産は、現金及び預金の減少を主因に前事業年度末比121百万円減少し、3,945百万円となりました。固定資産は、長期繰延税金資産の増加を主因に前事業年度末比60百万円増加し、14,332百万円となりました。

負債は、長期預り保証金の減少を主因に、前事業年度末に比較して126百万円減少し、11,225百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上を主因に、前事業年度末に比較して65百万円増加し、7,052百万円となりました。自己資本比率は38.6%と、前事業年度末に比較して0.5ポイント上昇しました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、営業収益、営業利益、経常利益は、概ね前回予想どおりの見込であります。四半期純利益及び当期純利益は、近年の業績動向及び今後の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、前回予想より繰延税金資産が増加したことに伴う法人税等調整額(益)の計上により、前回予想を上回る見通しであることから、第2四半期累計期間及び通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(平成29年1月31日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,479,031	3,373,254
受取手形及び売掛金	296,228	284,912
商品及び製品	123,690	108,822
仕掛品	3,240	14,852
原材料及び貯蔵品	64,635	65,817
その他	101,315	99,280
貸倒引当金	△1,467	△1,519
流動資産合計	4,066,674	3,945,420
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,107,151	3,083,692
土地	7,056,555	7,056,555
その他(純額)	2,464,997	2,474,927
有形固定資産合計	12,628,704	12,615,176
無形固定資産		
	74,165	72,923
投資その他の資産		
その他	1,591,648	1,667,037
貸倒引当金	△23,000	△23,000
投資その他の資産合計	1,568,648	1,644,037
固定資産合計	14,271,518	14,332,137
資産合計	18,338,192	18,277,557
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	76,632	80,387
1年内償還予定の社債	98,000	98,000
未払法人税等	56,148	9,399
引当金	37,697	14,212
その他	684,470	684,280
流動負債合計	952,947	886,279
固定負債		
社債	1,161,000	1,161,000
長期預り保証金	8,866,625	8,789,606
引当金	122,847	131,846
資産除去債務	41,337	41,529
その他	206,718	214,892
固定負債合計	10,398,529	10,338,874
負債合計	11,351,477	11,225,154
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,340,550	4,340,550
資本剰余金	527,052	527,052
利益剰余金	2,083,783	2,127,780
自己株式	△16,843	△16,843
株主資本合計	6,934,543	6,978,539
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	52,172	73,863
評価・換算差額等合計	52,172	73,863
純資産合計	6,986,715	7,052,403
負債純資産合計	18,338,192	18,277,557

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
営業収益	1,361,679	1,293,872
営業原価	1,135,523	1,122,023
営業総利益	226,155	171,848
一般管理費	146,777	151,615
営業利益	79,378	20,232
営業外収益		
受取利息	198	74
受取配当金	1,151	1,411
会員権消却益	43,175	68,535
その他	3,809	5,835
営業外収益合計	48,335	75,857
営業外費用		
支払利息	2,743	2,620
支払保証料	4,446	4,125
その他	3,096	1,869
営業外費用合計	10,286	8,615
経常利益	117,427	87,474
特別損失		
固定資産除売却損	2,589	10,541
特別損失合計	2,589	10,541
税引前四半期純利益	114,838	76,932
法人税、住民税及び事業税	22,344	2,529
法人税等調整額	5,803	△39,448
法人税等合計	28,147	△36,918
四半期純利益	86,691	113,851

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。